

大規模災害の被災地の産業支援を目的として 社員向けオンラインマルシェを開催 ～新たに岩手県も加わって、被災地特産品の消費拡大を促進～

株式会社オリエントコーポレーション(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:飯盛 徹夫、以下:当社)は、東日本大震災や令和2年7月豪雨など、大規模災害の被災地の産業支援を目的として、社員向けの「被災地復興応援マルシェ」をオンラインで開催いたしました。

当社は、東日本大震災復興支援の一環として2011年より行ってきた現地でのボランティア活動に加えて、農業・漁業などの産業支援かつ震災を風化させないための活動として、各県が被災地の特産品(菓子類・加工品類・酒類等)を社員向けに販売するマルシェを2019年より毎年開催しています。

今年も、昨年開催した宮城県、福島県、熊本県に加えて、岩手県も参加いたします。また、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での販売を取りやめとし、各県のオンラインショップを社員に案内することにより、被災地の特産品の消費拡大を促進いたします。



<例: 宮城県オンラインショップ>

■本取組に関連するSDGs



【ご参考】被災地の復旧・復興に向けた支援活動について

当社 Web サイト: <https://www.orico.co.jp/company/sustainability/contribution/earthquake/>

- ・2011年11月より、社員とその家族による農業・漁業支援などの現地ボランティア活動を実施。(これまでに32回実施、延べ297名が参加)
- ・本社、本社別館、鶴ヶ島ビルの社員食堂で、岩手県、宮城県、福島県の野菜や畜産物を使用した「東北応援メニュー」を定期的に提供。
- ・被災された方々の生活再建、産業の復旧復興にお役立ていただくため、オリコグループおよびオリコカード会員の皆さまによる寄付金を寄託。
- ・NPO 法人と協働によるボランティア活動「木づかいプロジェクト」として、間伐材を活用した積み木や知育パズルを社員が製作し、宮城県本吉郡南三陸町にある保育所に寄贈。

【ご参考】障がい者就労支援につながる活動について

当社 Web サイト：https://www.orico.co.jp/company/sustainability/contribution/internal_sales_meeting.html

- ・本社および本社別館にて、障がい者の就労支援活動などを行っている団体様と協働して、パンや焼き菓子などの販売会を 2017 年より定期的に実施。
- ・社員や近隣住民の方々への販売を通じて、団体様の活動の認知向上に努めるとともに、地域社会とのコミュニティ形成の促進を図っている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2020 年 10 月からは、団体様のオンラインショップを社員へ案内する販売会を開催。

オリコは、サステナビリティの取り組みの重要テーマの一つに、「持続可能な地域づくりへの貢献」を掲げています。このたびの取り組みを通じて、社員一丸となって被災地の産業支援を推進するとともに、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでまいります。